

第13回九州・沖縄地方産業競争力協議会 開催概要報告

【共同事務局】

九州地方知事会（宮崎県）
一般社団法人九州経済連合会
経済産業省九州経済産業局
内閣府沖縄総合事務局

第13回九州・沖縄地方産業競争力協議会 開催概要

- 令和6年11月11日（月）開催。九州・沖縄地方成長産業戦略（Earth戦略Ⅱ）のプロジェクト進捗状況の報告、協議会の今後の在り方について議論。
- 今後は、①九州地域戦略会議と相互に補完・連携しながら、情報共有・意見交換を行うための懇談会として再編すること、②Earth戦略は第Ⅱ期をもって終了し、後継の戦略は策定しないことを決定。
- 令和7年度、新体制（構成員：経済界・大学・県・政令市・国地方支分部局）での初会合を開催予定。

日時

令和6年11月11日(月)14:00～16:00

場所

ホテルニューオータニ博多4階「鶴の間（西）」

出席者

会長：倉富 純男（九州経済連合会 会長）
委員：民間企業等経営者7名
九州地方知事会（宮崎県） 河野知事をはじめ、
九州・沖縄・山口9県及び1政令市
ワザバー：地方支分部局11機関の長
事務局：九州地方知事会（宮崎県）、九州経済連合会、
九州経済産業局、沖縄総合事務局

内容

- (1) 各プロジェクトの進捗状況について
- (2) 九州・沖縄地方産業競争力協議会の今後の在り方について
- (3) 九州の持続的発展に向けた情報提供について
 - ① 新技術実装連携“絆”特区の取組について（長崎県）
 - ② 「食料・農業・農村基本法」改正について（九州農政局）



▲倉富会長



▲河野知事

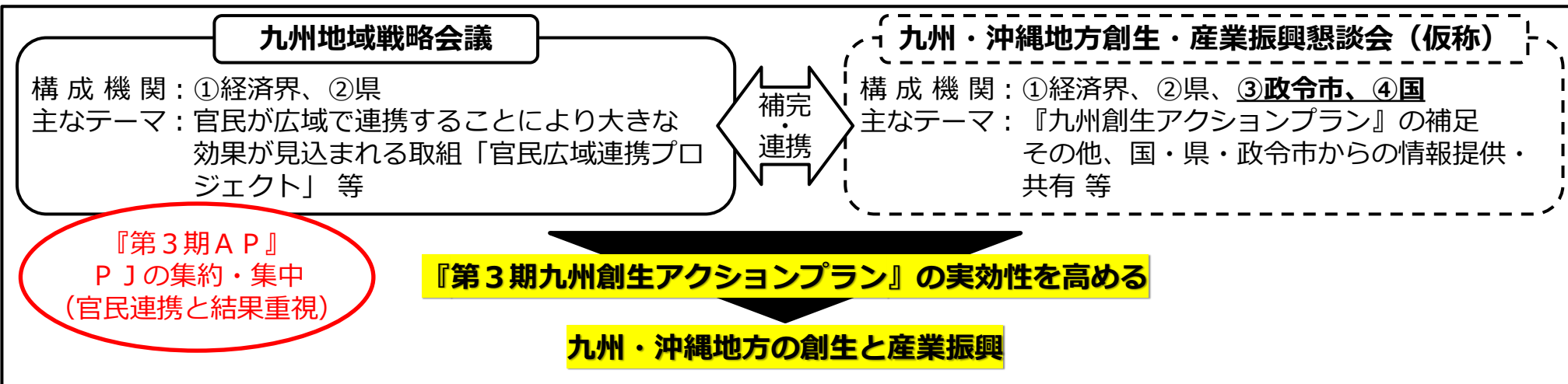


▲協議会の様子

協議会の今後の在り方について

協議会資料（抜粋）

- 九州・沖縄地方産業競争力協議会は、アース戦略を推進しつつ、九州・沖縄地方における産業再生に必要な政策等に関する地方の声を中央政府に伝えるとともに、経済界、各県、九州3政令市及び国地方支分部局が一堂に会し、時代に沿ったテーマで議論を重ね、他の地方には無い会議体としての強みを活かしてきた。
- 一方で、構成各機関が必要な取組や議論を個別に行う中、九州地域戦略会議や同会議が策定する『第2期九州創生アクションプラン』（今年度で期間満了）等との重複感も指摘されており、同プランの改定及び『アース戦略Ⅱ』の終了に併せ、戦略会議の議論と一体感を持たせることが必要。
- このため、今後は、**戦略会議と相互に補完・連携しながら、九州・沖縄地方で情報共有・意見交換を行うための懇談会として再編**する。
 - ✓ 名称を「九州・沖縄地方創生・産業振興懇談会（仮称）」とし、開催頻度は年1回程度とする。
 - ✓ アース戦略は現行の第Ⅱ期をもって終了し、**後継の戦略は策定しない**。



- 開催時期は、例えば戦略会議の夏季セミナーなど、多くの構成員の出席が予定されている定例のイベントを考慮し、日程を決定する。
 - ✓ 令和6年度：令和6年11月11日（今後の在り方について決定）
 - ✓ 令和7年度：新たな懇談会での初会合

(参考) 九州・沖縄Earth戦略Ⅱ ～新たな課題解決に挑むアジアのゲートウェイ・九州～

背景

- ◇国の成長戦略は道半ば
- ◇米中覇権争いとグローバルサプライチェーンの揺らぎ
- ◇新型コロナウイルス感染症の猛威と激甚化する自然災害

九州・沖縄の現状と課題

- ◇再エネ導入、医療機器産業参入、食の輸出、インバウンドの拡大
- ◇人口減少、カーボンニュートラル等への対応

九州・沖縄の強み

- ものづくり産業の集積
- 豊かな自然
- アジアとの近接性

九州・沖縄の強みを活かす戦略分野の推進
クリーン、医療ヘルスケア、農林水産業・食品、観光

アジアのゲートウェイ化の推進

アジアへの輸出とインバウンドの拡大

新たなテーマへの挑戦

SDGs、先端技術、働き方改革、アフターコロナ

九州・沖縄の強みを活かす戦略分野

1 クリーン分野

- 【水素】再エネ由来水素利活用の技術開発や水素関連産業の参入促進
- 【地熱・温泉熱】地域と共存可能なプロジェクトの創出と海外展開
- 【海洋】専門人材の育成やサプライチェーン形成による地場企業の参入促進
- 【次世代自動車】地元企業の開発力強化と電子・電装系企業の集積
- 【省エネ】有機EL分野の共同研究開発や参入促進
- 【環境・エネルギー】環境リサイクル技術のアジア展開、課題解決の推進

3 農林水産業・食品分野

- 【食の輸出】食品製造事業者への地域商社を介した販路開拓支援
- 【スマート農林水産業】事例共有や体験機会等の提供、データ活用の推進
- 【農山漁村発イノベーション等の推進】農泊や農福連携の推進

2 医療・ヘルスケア・コスメティック分野

- 【医療・福祉機器】自治体間連携による医療機器産業への参入促進
- 【バイオ】核酸医薬やゲノム編集技術活用等による革新的医薬品の開発推進
- 【コスメティック】地産農林水産物を活かした化粧品の研究開発の推進

4 観光分野

- 【観光基盤】宿泊施設のグローバル対応促進と観光産業の人材育成
- 【誘客と観光消費】
欧米豪や中国個人客等へのプロモーション強化による誘客地域の多角化
自然や食、歴史、文化を活かした観光サービスや広域旅行商品の創出
統合型リゾート（IR）の誘致活動推進

分野を超えた横断的取組

1 SDGsの普及・実装

- ・産学官金プラットフォーム「九州SDGs経営推進フォーラム」による地域・社会課題解決に向けた企業と自治体との対話促進

2 創業・ベンチャーの創出

- ・「Fukuoka Growth Next」など地域における創業支援体制の強化
- ・九州・山口ベンチャーマーケットなど国内外とのビジネスマッチングの強化

3 先端技術やビッグデータの活用

- ・多様なステークホルダーが共創できる環境づくり
- ・衛星データや民間データも含めたビッグデータの連携・オープンデータ化

4 ダイバーシティ経営の推進

- ・男性の家事・育児の促進等、妊娠・出産・子育てをしやすい環境の整備
- ・テレワークや副業・兼業などの定着を見据えた働き方改革のさらなる推進
- ・オンラインも活用した域内就職やUIターン就職の促進

5 グローバル人材の確保・育成

- ・自治体、企業の連携による留学生の域内企業への就職、起業促進

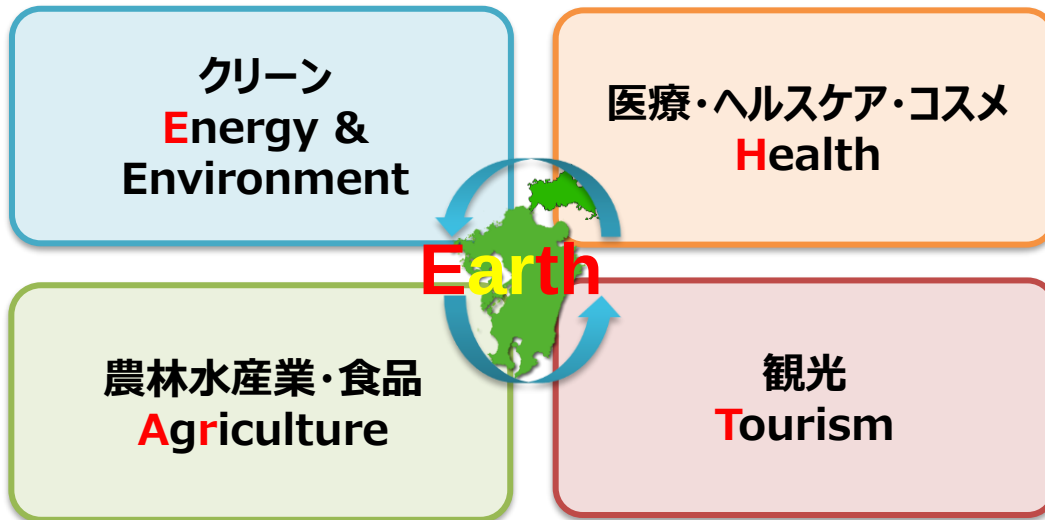
6 その他

- 【宇宙ビジネス】九州宇宙戦略推進会議による宇宙ビジネスへの挑戦
- 【その他】国際化、オープンイノベーション、インフラ強靱化、九州～沖縄連携

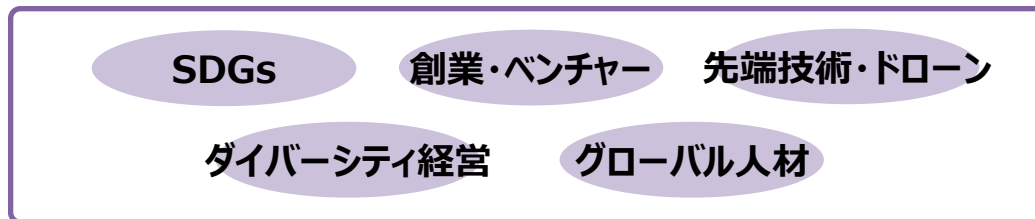
(参考) 九州・沖縄Earth戦略Ⅱ

- 九州・沖縄の強みを活かす4つの戦略分野における取組を推進し、新たな課題解決に挑むアジアのゲートウェイ・九州として持続的な発展を目指す。

戦略分野



横断的取組



共通する4つの視点

SDGs

先端技術

働き方改革

アフターコロナ

九州・沖縄Earth戦略Ⅱで進める21のプロジェクト

戦略分野	クリーン	①九州水素エネルギー社会実現プロジェクト ②地熱・温泉熱エネルギー産業拠点化推進プロジェクト ③海洋再生可能エネルギー産業の拠点形成プロジェクト ④北部九州自動車産業アジア先進拠点推進プロジェクト ⑤有機光エレクトロニクス産業拠点化プロジェクト ⑥九州・アジア環境エネルギー産業推進プロジェクト
	医療・ヘルスケア・コスメティック	⑦ヘルスケア産業振興プロジェクト ⑧革新的医薬品等創出拠点プロジェクト ⑨バイオ産業振興プロジェクト ⑩唐津コスメティック構想推進プロジェクト
	農林水産業・食品	⑪九州の食の輸出推進プロジェクト ⑫スマート農業推進プロジェクト ⑬スマート水産業推進プロジェクト ⑭農山漁村発イノベーション等の推進プロジェクト
	観光	⑮九州観光戦略プロジェクト
	SDGs	⑯九州SDGs経営推進プロジェクト
	創業・ベンチャー	⑰創業・ベンチャー企業創出プロジェクト
	先端技術・ドローン	⑱先端技術活用推進プロジェクト ⑲ドローン産業振興プロジェクト ⑳ものづくりにおける組込みソフトウェアへの軽量Ruby活用促進プロジェクト
	グローバル人材	㉑グローバル人材の育成・活用促進プロジェクト
横断的取組		